

AFTER WORKSHOP FOR KIDS

# ジュン先生と踊ろう、

## はながさおんど 花笠音頭!

時間:20分程度

観るだけで終わらない!  
心と体で楽しむワークショップ!

観劇後に、ジュン先生と一緒に花笠音頭を体験!

子どもたちは舞台の感動をそのままに、自ら体を動かしながら

日本の伝統的な踊りを楽しめます。

舞台上に上られるチャンスもあるかも!?

俳優と同じ「体験」を通じて、観劇がより深く

心に残る時間となります。



観劇 + 体験 で、忘れられない観劇会に!

作品介绍  
PVはこちら  
→→



小学校作品  
一覧はこちら  
→→



劇団うりんこは1973年、プロ劇団として創立。うりんことは「イノシシの子ども」のこと。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいという願いを込めて付けられました。以来、愛知、岐阜、三重の学校を中心に巡回公演を続け、今では活動は全国、海外に及びます。1986年には「うりんこ劇場」をオープン。子どもたちが自らの力で自らの未来を創っていく「糧」になるような演劇を創りたいと活動を続けて



TEL. 052-772-1882

FAX. 052-771-7868

info@urinko.jp www.urinko.jp

〒465-0018

名古屋市名東区八前一丁目112番地



劇団うりんこ

# ジュン先生が

—3年1組ものがたり—

劇団うりんこ  
新作!

# やってきました!

原作:後藤竜二『3年1組ものがたり』より(新日本出版社)「ジュン先生がやってきた!」「五月は花笠!」「十一月は変身!」

脚本・演出:北村直樹 (人形芝居ひつじのカンパニー)

スタッフ:美術=乗峯雅寛(文学座)/音楽・音響=ノノヤマナコ(マナコプロジェクト)/照明=若狭慶大(Lightbox)/衣裳=さくま晶子/  
振付=下出祐子/宣伝美術=伊藤祐基/イラスト=よしながこうたく/写真=服部義安/映像=山内崇裕/花笠音頭指導=鈴木豊喜栄

個性全開 3年1組 × パワー全開 ジュン先生

笑って、ぶつかって、考えて、  
“コミュニケーションの大切さ”  
を描きます!

ジュン先生が  
やってきました!

-3年1組ものがたり-

STORY

始業式の日、桜吹雪の中を

自転車を担いで現れた新任・ジュン先生。

鍛え上げた体と強烈な存在感に、3年1組は大騒ぎ。

「カッコイイ!」と胸を高鳴らせるユウ。警戒心を見せるハヤト。

しっかり者のエミリ、気の弱いアキミ——

個性も距離感もバラバラな子どもたち。

型破りなジュン先生との出会いは、

教室に“楽しい混乱”と“本気の問い”を  
巻き起こしていく。

このクラス  
まとまるの?

見どころ  
1 晴れた日は屋上で算数!

「今日の算数は屋上で  
紙飛行機飛ばし大会をします」の一声で、  
教室は大騒ぎ。

子どもたちは、紙飛行機を飛ばし、  
距離を測り、比べ、工夫する中で、  
学んで楽しい!を体感します。

大きな飛行機が青空をのびやかに飛ぶシーンは、  
客席の子どもたちを一気に  
物語へ引き込みます。

見どころ  
2 涙の席替えスーパーシート

席替えの日、アキミがくじを食べてしまった。

理由を言えずにうつむく彼女に、

クラスは責めず、急かさず、「待つ」ことを選びます。

やがて勇気を出して気持ちを

言葉にするアキミの姿は、

安心できる学級づくりと、

思いやりの大切さを静かに、深く伝えます。

観ている子どもたち自身の経験と重なり、

心に残るシーンです。

見どころ  
3 大ブーイングの花笠音頭

運動会のダンスは、まさかの花笠音頭。

「ダサい!」「恥ずかしい!」と大ブーイングの中、

ジュン先生は全力で踊り始めます。

その姿に、少しずつ変わっていくクラスの空気。

舞台いっぱい広がる踊りと掛け声は、

表現する楽しさ・仲間とつながる喜びを

体感できるクライマックスです。

うまく言えない。うまく伝わらない。  
それでも、わかり合おうとする  
仲間がいる。

上演のご案内

構成人数:5名

上演時間:60分予定

(休憩なし)

準備時間:3時間

片付け時間:1時間30分